



MUFG通信

2017年度中間期(2017年4月1日～2017年9月30日)

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL : <http://www.mufig.jp/>

証券コード : 8306



社長メッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、2017年度中間期の業績および今後の取り組みについてご説明します。

▶ 2017年度中間期の業績について

2017年度中間期は、低金利環境の長期化により国内の資金利益が減少しましたが、円安進行による為替影響もあり、業務粗利益は前年同期比387億円増加の2兆81億円となりました。営業費は、海外の規制対応費用や人件費の増加に加え、為替影響もあり、前年同期比633億円増加しました。この結果、業務純益は、前年同期比246億円減少の7,007億円となりました。

与信関係費用総額は前年同期比607億円改善し31億円の戻入益を計上、株式等関係損益は前年同期比109億円増加の550億円となりました。以上により、経常利益は前年同期比691億円増加の8,640億円、親会社株主に帰属する中間純利益は、1,364億円増加の6,269億円となりました。

経営の健全性を表す自己資本比率については、2017年9月末の普通株式等Tier1比率が12.14%と、現在の金融規制に照らして十分な水準を維持しています。また、不良債権比率（貸出金に占めるリスク管理債権の比率）は前年度末比0.14%低下の1.26%と、引き続き低い水準を維持しています。

こうした業績を踏まえ、2017年度中間期の配当は期初予想通り9円とし、併せて7半期連続となる1,000億円の自己株式取得を行います。今回新たに取得する自己株式は、5月に続き、全量消却する予定です。



▶ 持続的な成長に向けて

MUFGでは、未来志向型の構造改革を推し進めることで、収益力強化や生産性向上により、持続的な成長につなげることを狙いとして、本年5月に「MUFG再創造イニシアティブ」を発表しました。これは、以下4つの柱で構成されています。

MUFG再創造イニシアティブ 4つの柱

1. グループベースでの顧客・事業軸運営の強化
2. デジタルを活用した事業変革
3. 生産性向上に向けたイニシアティブ
4. グループの経営体制の再構築

発表以来、施策の具体化を進めており、例えば「デジタルを活用した事業変革」では、本年10月にJapan Digital Design株式会社（以下、JDD）を設立しました。JDDはMUFGの内部組織であった「イノベーション・ラボ」を母体としており、外部エンジニアの採用や業務提携を通して、革新的なサービスの開発や社会的コスト低減に取り組んでいきます。また「グループの経営体制の再構築」では、商業銀行と信託銀行の法人貸出等業務を、来年4月に統合する予定です。引き続き、構造改革に資する施策の具体化を進め、来年4月からスタートする次期中期経営計画につなげてまいります。

私たちは「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」の実現をめざし、前進を続けてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

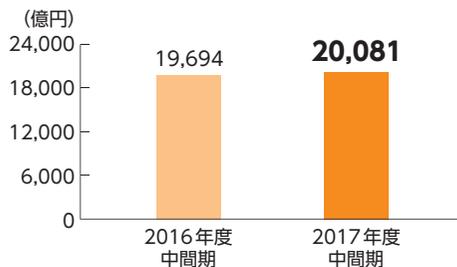
2017年12月
取締役 代表執行役社長 グループCEO 平野信行

2017年度中間期決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する中間純利益は、6,269億円と通期目標に対する進捗率は65.9%
- 貸出金は前年度末比で0.2兆円減少、預金は前年度末比で1.0兆円増加
- 普通株式等Tier1比率は、12.14%と十分な水準を確保

連結業務粗利益



前年同期比387億円増加しました。国内預貸金を中心に資金利益が減少しましたが、海外預貸金収益および市場関連収益の増加に為替影響も加わり、増加しました。

与信関係費用総額*

貸倒引当金の戻入を主因に31億円の戻入益となりました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
● 与信関係費用総額(△は費用)	
経常利益	
親会社株主に帰属する中間純利益	

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	
貸出金(銀行勘定)	
有価証券	
うち国債	
負債の部合計	
預金	
純資産の部合計	

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	
Tier1比率	
総自己資本比率	

(単位: 億円)

2016年度中間期 (2016年4月~9月)	2017年度中間期 (2017年4月~9月)
19,694	20,081
12,440	13,073
7,254	7,007
△576	31
7,948	8,640
4,905	6,269

(単位: 億円)

2016年度末	2017年度中間期末
3,032,974	3,054,688
1,090,052	1,087,734
594,388	593,759
251,115	216,765
2,866,390	2,881,894
1,707,302	1,718,213
166,583	172,793

2016年度末

2017年度中間期末

11.76%

12.14%

13.36%

13.72%

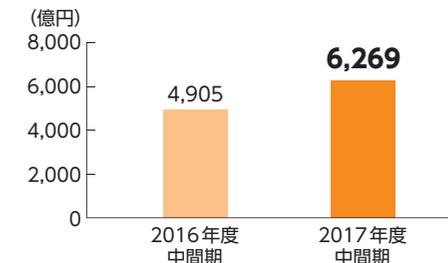
15.85%

16.33%

営業費

海外の経費増加に、為替影響も加わり、前年同期比633億円増加しました。

親会社株主に帰属する中間純利益



前年同期比1,364億円増加し、6,269億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人貸出および政府等向け貸出の減少を主因に前年度末比0.2兆円の減少となりました。預金残高は、個人預金および海外預金の増加を主因に前年度末比1.0兆円の増加となりました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は、12.14%と引き続き十分な水準を維持しています。

* 普通株式等Tier1比率 = 中核的な自己資本(資本金・剰余金) ÷ リスク・アセット

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

CEATEC Japan 2017出展

IoTなどの新しい技術を紹介する、アジア最大の国際展示会であるCEATEC Japan 2017が2017年10月に千葉・幕張で開催されました。このイベントに、MUFGグループ4社は『フィンテックを活用した未来の金融サービスのかたち』と題してブースを出展しました。

三菱東京UFJ銀行

MUFGコイン

「MUFGコイン」は、1コイン=1円の価値を想定した新しいデジタル通貨です。会場では日常利用を想起させる自動販売機決済システムのデモを展示し、認知度向上に努めました。来場者の方々から多くの質問をいただき、関心の高さがうかがえました。現在、実証実験を実施しています。



三菱UFJ信託銀行

信託クエスト

「信託クエスト～剣と魔法とお金の物語～」は、ゲームを通じて資産形成の必要性を学ぶことができる投資教育コンテンツです。30代～40代のこれまで資産形成に接点のなかった方々にも広く楽しんでいただけます。今後、続編や新たな親しみやすいコンテンツをリリースしていく予定です。

▶ <http://www.tr.mufg.jp/life-shisan/>



カブドットコム証券

リアルタイム株価予測

「リアルタイム株価予測」は、1日約4,000万件に及ぶ株式注文を、高速ビッグデータ処理によって解析し、未来の株価や出来高を予測するサービスです。会場では取引開始前に当日の株価が上がると予測される、出来高が多くなると予測されるなど、未来の値動きを予測して銘柄を選ぶ、新しいサービスを体験していただきました。



じぶん銀行

AI外貨予測

「AI外貨予測」は、人工知能(AI)を活用した邦銀初となる外貨預金サポートツールです。AIが外国為替相場を分析し、将来の為替相場変動を予測します。対象通貨は米ドル・ユーロなど5通貨で、AIが予測した相場変動の結果を、スマートフォンアプリに一覧表示します。また、「AI外貨予測アラート機能」は、AIが予測した為替相場を通知することにより、タイミングを逃さずお取引いただけるサービスです。



最近よく聞くFinTech

新聞やテレビなどで毎日のように取り上げられているFinTech(フィンテック)。でも「よく分からない」とお思いの方もいらっしゃるかもしれません。

ここでは、FinTechに関する最近の用語とMUFGの取り組み状況についてご紹介します。

Q. そもそもFinTechとは?

A. FinTechとは金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語です。「従来の金融サービスに革新をもたらすITおよびITサービス」の総称で、それらを活用する企業をFinTech企業と呼ぶことがあります。もとは米国発祥ですが、日本では2014年後半頃から金融分野での新サービス誕生に期待が集まり、MUFGをはじめとした金融機関によるFinTechへの取り組みも広がっています。

具体的な取り組みとしては、例えば、三菱東京UFJ銀行では「バーチャルアシスタント-銀行取引Q&A」などのサービスが始まっています。また、三菱UFJモルガン・スタンレー証券では、2017年9月より、資産運用に関するアドバイスをを行う、ロボアドバイザー「Probo*」の提供を開始しています。



バーチャルアシスタント-銀行取引Q&A



ロボアドバイザー「Probo*」

* Proboはインターネットトレード内のサービスであり、ご利用にあたっては三菱UFJモルガン・スタンレー証券でのお取引口座およびオンライントレードのお申込みが必要です。また、金融商品仲介口座でのご利用はできません。

Q. 人工知能「AI」ってなに?

A. AIとは“Artificial Intelligence”の略称です。人間の脳が行っている知的な作業をコンピューターで模したソフトウェアやシステムのことで、FinTechの中核技術として注目されています。



金融業界では、市場における株取引の自動化やコールセンターの対応品質向上、または財務分析作業の自動化など、多くの活用事例があります。AIには「攻め」と「守り」の両面で効果が期待できることから、活用に向けて研究が今後ますます盛んになっていくことが想定されます。

MUFGでは、ロボアドバイザーなどのほか、審査や営業に関わるサポートツールとしての活用も検討されています。カブドットコム証券では、2017年7月より、個人投資家向けに「AIを活用した決算レポート提供」を開始しました。これは、決算短信などの企業情報をもとに、AIが決算レポートを瞬時に自動生成する技術を活用しています。



ESG課題への取り組み

MUFGは、お客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現することをめざし、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)経営に取り組んでいます。

国内グリーンボンド発行をサポート

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、持続可能な社会の実現に貢献するための取り組みとして、グリーンボンド等の発行をサポートしています。グリーンボンドとは、調達資金の投資対象がグリーンプロジェクトに限定されている債券です。

社会の持続的成長、とりわけ環境を重視する投資家の関心拡大を背景に、グリーンボンド市場はグローバルベースで急速に拡大しており、2016年の発行量は前年比約2倍の900億米ドル超となりました。日本でも、環境省による「グリーンボンドガイドライン」の策定や、東京都による自治体初のグリーンボンド発行等、市場拡大を後押しする動きが活発化しています。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、国内外発行体による数多くのグリーンボンド案件および社会的課題の解決に貢献するサステナビリティボンド案件等に主幹事として関与しています。今後もグリーンボンド等発行のサポートを通じ本邦市場の拡大に貢献します。

■ 2017年以降に三菱UFJモルガン・スタンレー証券が関与した起債実績(10月末時点)*1 *2

発行体	ボンドのタイプ	発行月	発行総額
フランス電力	グリーンボンド	2017年1月	260億円
JICA	ソーシャルボンド	2017年2月	50億円
スターバックス・コーポレーション	サステナビリティボンド	2017年3月	850億円
BPCE	ソーシャルボンド	2017年6月	581億円
JICA	ソーシャルボンド	2017年9月	200億円
東京都	グリーンボンド	2017年10月	100億円

*1 モルガン・スタンレー MUFG証券が関与した実績を含む

*2 本邦発行体および本邦市場での起債

株主総会議案に関する議決権行使結果と賛否理由の開示

三菱UFJ信託銀行は、投資先企業に対して、中長期的視点から持続的成長を促すことを目的とした対話や議決権行使を通じて、企業価値向上を促し、受益者の投資リターンの拡大をめざした取り組みを行っています。

例えば、議決権行使を通じた対話の実効性向上を目的として、2016年7月から2017年6月末までに開かれた株主総会議案に関する議決権行使結果、ならびにその賛否および理由をホームページで公表しました。

また、投資先企業が将来に向けた議案の検討を行えるように、今後論点となる項目をホームページに開示*しています。

■ 議案別議決権行使状況(国内株式) <2016年7月~2017年6月総会>

会社提出議案			
議案分類	賛成	反対・一部反対	合計
剰余金処分案等	1,403	33	1,436
取締役選任	1,675	586	2,261
監査役選任	1,072	199	1,271
定款一部変更	546	10	556
退職慰労金支給	101	103	204
役員報酬額改定・役員賞与	552	100	652
新株予約権発行	92	27	119
会計監査人選任	45	0	45
組織再編関連*1	48	0	48
買収防衛策	40	91	131
その他会社提案*2	290	5	295
合計	5,864	1,154	7,018

*1 合併、事業譲渡・譲受、株式交換、株式移転、会社分割等

*2 自己株式取得、法定準備金減少、第三者割当増資、資本減少、株式併合等

株主提出議案			
	賛成	反対	合計
合計	3	161	164

* 詳細については三菱UFJ信託銀行ホームページ「議決権行使の考え方」をご参照下さい

http://www.tr.mufg.jp/houjin/jutaku/nyou_kabu.html#item1

MUFGからのお知らせ

MUFGでは、下記のとおり株主さま向けのセミナーを開催いたします。

1 動画配信

セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。PC・スマートフォン等から、いつでも、どこでもご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

▶ リンク先情報

当社ホームページ内『動画配信』(http://www.mufg.jp/investors/movie/)

▶ ユーザー名

mufg

▶ パスワード

201803

▶ 配信期間

経済セミナー：東京会場終了後、1ヵ月間
相続セミナー：セミナー終了後、1ヵ月間

2 開催概要

募集対象者 …… 2017年9月末時点で 1,000株以上 当社株式をお持ちの株主さま
(ご同伴は1名さままで可)

参加費 …… 無料

① 経済セミナー(東京・大阪・名古屋)

開催日 募集人数	【東京】 東京都千代田区	2018年3月12日(月)	各回380名
	【名古屋】 愛知県名古屋市中区	2018年3月15日(木)	各回150名
	【大阪】 大阪府大阪市中央区	2018年3月23日(金)	各回200名
時間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社または外部の会議室		
内容	テーマ：「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事 五十嵐 敬喜氏		



五十嵐 敬喜氏

② 相続セミナー(東京)

開催日 募集人数	2018年3月19日(月) 200名	
時間	19:00 ~ 20:15頃	
開催場所	東京都千代田区内の会議室	
内容	テーマ：「長寿時代の相続対策」(仮題) 三菱UFJ信託銀行のトラストファイナンシャルプランナーが事例を交えて解説します。	

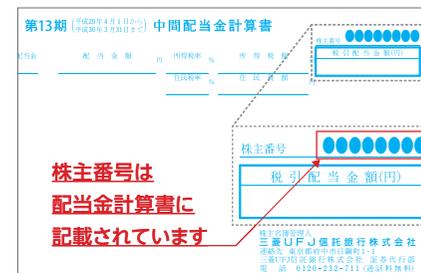
3 応募要領

応募方法：同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 2017年12月29日(金) 消印有効

ご記入要領

- ご希望のセミナーおよび開催日時を **いずれか1つ** 選択してください (**複数選択、無選択は無効**)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(同封の「配当金計算書」または「配当金領収証」の右上8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。



**株主番号は
配当金計算書に
記載されています**

抽選の上、当選された株主さまには2018年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
- 応募時に必要事項の **記入漏れ** があった場合には、**無効** となりますのでご注意ください。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629
(通話料無料)

代表電話

03-3240-8111
(通話料有料)

受付時間：土・日・祝祭日を除く9:00~17:00

■ 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ
—Be the world's most trusted financial group—

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の力で

お客様視点を中心に、グローバルに変化する多様なニーズを逸早くとらえ、グループ全員の力で応えていく。社員一人ひとり・一社一社が専門性を極め、グループ一体となって連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に

変化の激しい時代においても、お客様の資産を守り、日本社会と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な存在であり続ける。

3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そして世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍できる組織として進化を続ける。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL : <http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

2017年12月発行

本誌はFSC® 認証紙、植物油インキを使用しています。

